

**JRVA**<sup>®</sup>  
Japan Recreational Vehicle Association

キャンピングカーを日本の文化に



一般社団法人 日本RV協会

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-19 竹生第二ビル 905号室

TEL.045-270-3855 FAX.045-270-0633

E-mail : office@jrva.com

URL : <https://www.jrva.com>

**JRVA**<sup>®</sup>

一般社団法人 日本RV協会 協会概要

Japan Recreational Vehicle Association Guide





# キャンピングカーで日本を元気に!!

# キャンピングカーを日本の文化に!!



日本の観光産業により「くるま旅」が根付こうとしています。  
欧米では既に人々の暮らしの中にキャンピングカー文化が根付いていますが  
日本でも車中泊を伴うキャンピングカーでの「くるま旅」が目ざればはじめ、RVパークなど、車中泊の為にインフラ施設も増えて参りました。  
コロナ禍の影響から、公共交通に代わる旅行手段として、また、テレワークやワーケーションの場への利用、  
そして災害時の避難シェルターなど、キャンピングカーの可能性は大きく広がっており、今後さらなる成長が期待できる文化・産業となりました。  
日本RV協会はキャンピングカーユーザーの皆様が楽しめる環境の整備、市場の育成、業界の発展に寄与する活動を行い、  
日本にキャンピングカー文化を根付かせていきます。

一般社団法人 日本RV協会 代表理事 荒木賢治





# 増

## キャンピングカーユーザー増加中 右肩上がり続けるキャンピングカー業界

キャンピングカー  
が可能にする  
くるま旅の  
特徴

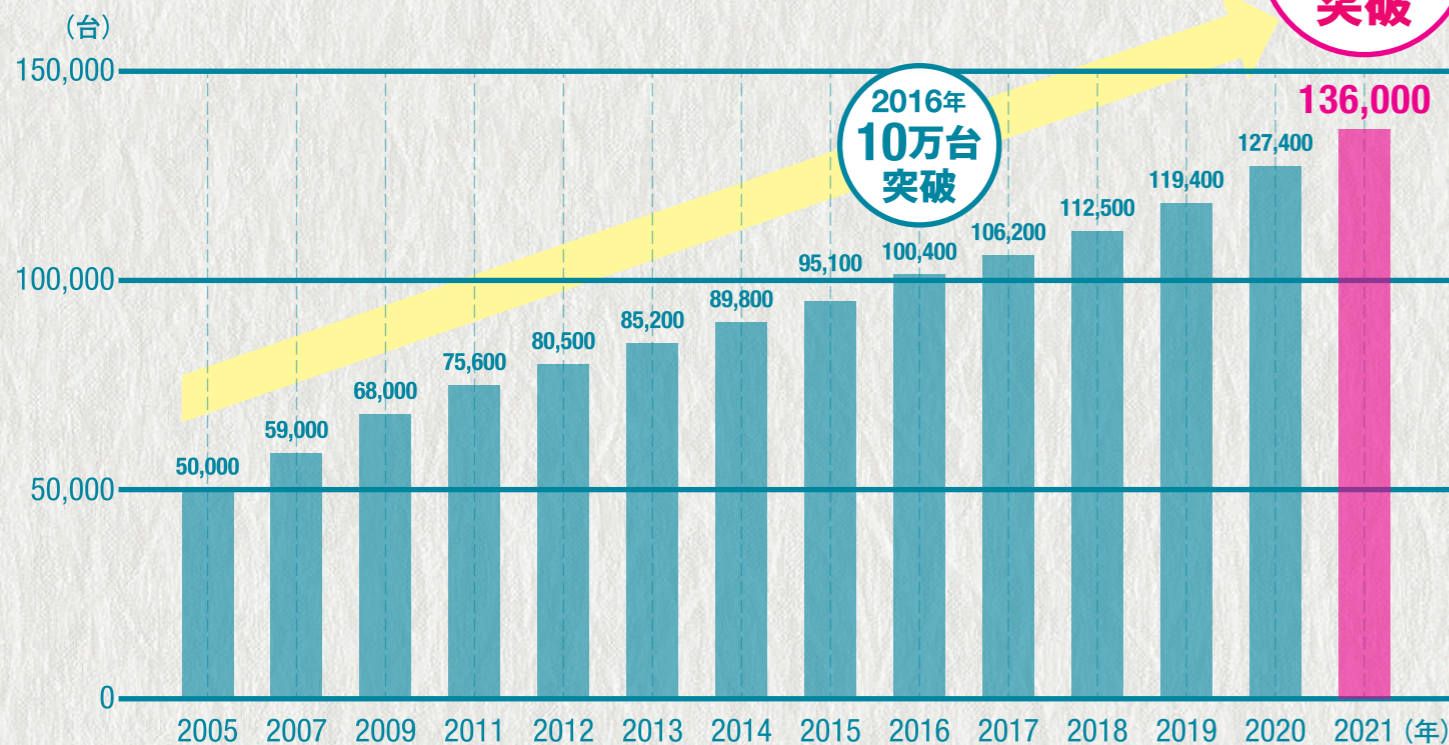
ソーシャル  
ディスタンス空間  
**NO密**  
コロナ禍にも  
強い

高い  
回遊性

## キャンピングカーは10年で約2倍に増加

キャンピングカーの国内保有台数は2021年に13万台を超えました。その数は増加傾向にあり、多くのユーザーがキャンピングカーを楽しんでいます。バスのような大きなクルマから軽自動車まで、種類も多種多様。家族旅行に利用したり、ペットとの旅を楽しむためなど、ユーザーは自分たちの使い方に合わせたクルマ選びもできるようになりました。キャンピングカーは好きな時に移動できる高い機動性があること、家族単位での移動が可能であること、プライベートスペースを確保できることなどから、新しい生活スタイルにも対応したクルマとして人気が出ています。

キャンピングカー保有台数（日本RV協会調べ）



2021年  
13万台  
突破

2016年  
10万台  
突破

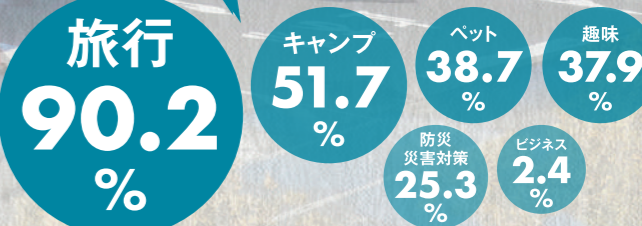
## キャンピングカーユーザーは 年間を通して旅をしています

ユーザーにキャンピングカー購入のきっかけを聞くと、多くの方が「旅行」と答えています。旅行が好きで、効率よく旅をするための手段としてキャンピングカーを利用しているのがわかります。目的地を定めることなく、北海道や東北、九州など、エリアを周遊する人も多く、旅行期間も長めといえるでしょう。また、キャンピングカーは断熱効果の高い作りになっていて、ヒーターや家庭用エアコンを搭載しているモデルも多数あります。外気温に左右されることなく、いつでも快適な環境が提供されることで、ユーザーは年間を通して旅行に出かけることが容易になります。特にヒーターは寒さの厳しいヨーロッパで生まれたこともあり、極寒の冬であっても快適な気温を維持してくれるのが特徴。普通であれば、自宅にこもりがちな冬場であっても、キャンピングカーユーザーは活発に動いていることがアンケートからも読み取れます。

## キャンピングカー購入意欲は 世帯収入差に左右されない

キャンピングカーユーザーの年齢層は60歳代が最も多く、全体の4割を占めています。その比率は増加の傾向がみられます。一方で30歳代の比率も増加していて、幅広い世代でキャンピングカーユーザーが増えました。世帯収入をみてみると、400万円未満～1000万台に均等に分布していることから、経済的な差を感じることはありません。種類も増えて、自分にあったキャンピングカーを選びやすくなったことから、今、キャンピングカーは、幅広い世帯に受け入れられる存在になった、といえるでしょう。

キャンピングカーユーザーに聞きました  
購入のきっかけは？（複数選択可）



キャンピングカーユーザーに聞きました  
よく旅行に出る月は？（複数選択可）

通年出かける **50.5%**

キャンピングカーユーザーに聞きました  
世帯収入はどれくらい？



現在キャンピングカーを主に使っている方の年齢





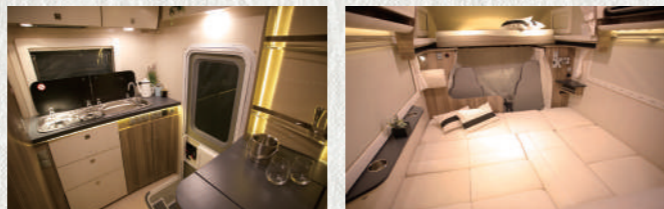
# 家

## 動く家で旅をする キャンピングカーが広げる旅の可能性



### キャンピングカーユーザーは『宿泊場所』を『持参』します!

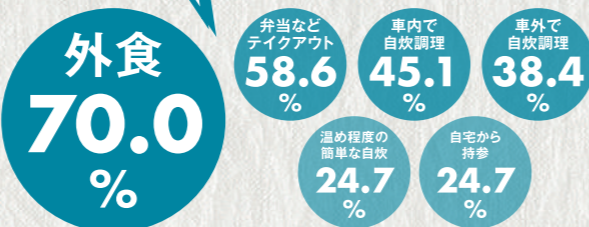
キャンピングカーは快適な居住スペースを架装したクルマです。多くの人がキャンピングカーと聞いて、キャンプをイメージしますが、実際のキャンピングカーユーザーはキャンプをしない人もたくさんいるのです。みなさん、その快適な居住スペースを利用するためにキャンピングカーを選んでいると聞いていいでしょう。宿泊、休憩などに使える空間を常に運んでいることがポイントになります。移動手段として利用しながら、宿泊場所にもなることで、行動範囲が広がり、宿泊施設の少ない場所を目的地にすることができます。また、いつもの自分の生活をそのまま持ち出せることに利便性を感じているキャンピングカーユーザーも多くいるようです。



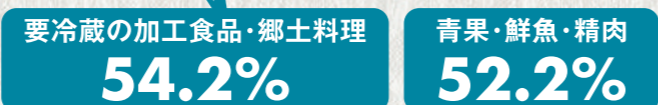
### キャンピングカーユーザーは『地産地消』を好みます!

調理設備を備えたキャンピングカーがほとんどですが、多くのキャンピングカーユーザーはそれほど自炊することないのかもしれない。なぜなら、旅先での食事を楽しんでいる人が多いからです。みなさんが旅先での食事で気にしていることは、地元の料理・食材が使用されていることで、アンケートでは全体の約8割を占めています。キャンピングカーユーザーはその機動性の高さを活かしながら、地元で人気のあるお店を探しているのです。また、キャンピングカーに装備された冷蔵庫を利用して、要冷蔵のお土産を購入する傾向も強いことが分かります。いつでも気軽に要冷蔵のお土産を購入できるのは、キャンピングカーユーザーの強みなのです。

#### キャンピングカーユーザーに聞きました キャンピングカーでの旅行中 食事はどうしてますか? (複数選択可)



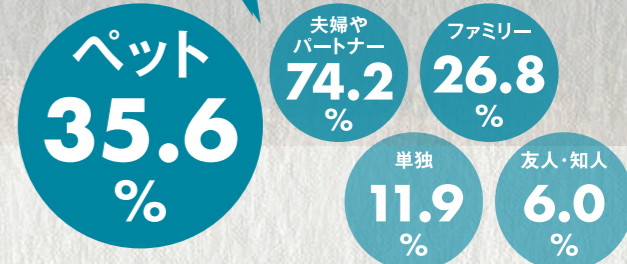
#### キャンピングカーユーザーに聞きました お土産で購入するもの (複数選択可)



### キャンピングカーユーザーはペットと旅を楽しんでいます!

ペットとの旅行にキャンピングカーを利用する人がたくさんいます。ペットがいるから、キャンピングカーを購入した、という声もよく聞きます。その理由は、それまでペットとの旅行に不便を感じていたからです。公共交通機関をペットと利用する時、一緒に移動できなかったり、特別な利用料が発生することもあります。また、宿泊施設においても、ペットとの宿泊を認めている場所も少なく、せっかく見つけた施設であっても予約が取りにくかったり、ペットの体調が急に悪くなって、キャンセルが発生してしまったなど、いろいろな不便を感じていたのです。そのすべてを解決してくれたのがキャンピングカーの存在だったのです。

#### キャンピングカーユーザーに聞きました 誰と一緒に出かける? (複数選択可)



ペットホテルの料金は  
3,000円~16,500円することも...  
ホテル代の節約より何より  
ペットに寂しい思いをさせません!!

### キャンピングカーユーザーは自由な旅を楽しんでいます!

キャンピングカーを購入すると、ユーザーのライフスタイルに変化が現れるようになります。アンケートでは、多くの人が時間を気にせずに旅行ができるようになった、といいます。例えば、仕事終わりの金曜日夜から出かければ、土日の週末を使って、2泊3日の旅行が楽しめます。また、一般的な旅行では、目的地の周辺を観光することが旅のスタイルですが、キャンピングカーでは、機動性の高さから途中で宿泊場所を変更できたり、寄り道をしたりと、旅行の行程でさえも楽しめます。自由に行動できることから、これまで気づかなかった新しい場所へも行けるのです。

#### キャンピングカーユーザーに聞きました 購入してから 変わったライフスタイル (複数選択可)

時間を気にせず  
旅行ができる  
ようになった **84.5%**

今まで行けなかった  
場所を目的地に  
できるようになった **58.1%**



# 進

## くるま旅のためのインフラ整備 ハードの供給+ソフト面の充実を促進



### くるま旅の先進国、欧州や欧米に習い 日本にも安全かつ快適に車中泊できるスポットを

キャンピングカー先進国の欧米諸国では、キャンピングカーで宿泊できる場所がたくさんあります。公園などの公共の施設であったり、大きな屋敷の庭を解放した私設の場所など、いろいろな形態が存在しています。このような施設を見習って、国内でもキャンピングカー専用の宿泊施設が増えてきています。そのなかで急速に数を増やしているのが、日本RV協会が認定している「RVパーク」という施設です。安心、安全、快適に宿泊できることを目的に、水回り、トイレ、電気などの設備があり、気軽に利用できるようになった施設です。全国各地に点在していて、利用者の数も年々増加し、キャンピングカーユーザーの約6割が利用しています。

### RVパークは 協会認定の車中泊スポット

「RVパーク」は日本RV協会が認定する施設で、どなたでもご利用いただける「安全かつ快適な車中泊を楽しめる場所」です。箱もの施設の必要がなく、導入する場所は、水道・100V電源・24時間使用可能なトイレさえあればどこでも可能で、空いた土地の有効活用に最適です。また、景勝地に限らず都市部の繁華街、娯楽施設駐車場の一角でも可能です。RVパークが全国1,000ヶ所に広がることで、皆様の町に人的交流と経済効果がもたらせます。



#### 《 RVパーク開設に必要なこと 》

- 1 ゆったりとした駐車スペース (幅4m×縦7m)
- 2 24時間利用が可能なトイレ
- 3 100V電源が使用可能 (1台あたり15A以上が理想)
- 4 入浴施設が近隣にあること (車で15分圏内)
- 5 ごみ処理が可能
- 6 入退場制限を緩やかに (いつでも出入り可)
- 7 看板の設置 (ロゴは日本RV協会が提供)
- 8 複数日の宿泊滞在を可能に



ドイツキャラバンサロンの期間中、駐車場がRVパークになる



大人数が使えるシャワールームも完備



ドライブスルー型のダンプステーション

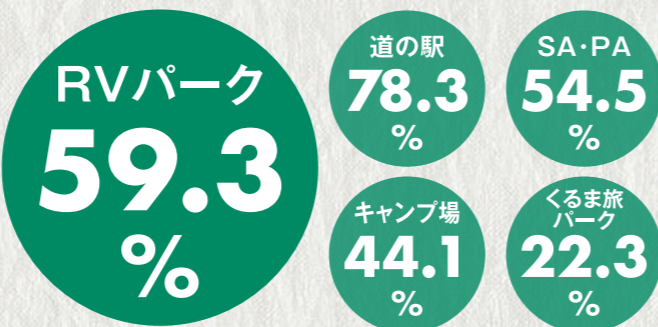


LPGガスの交換もできる

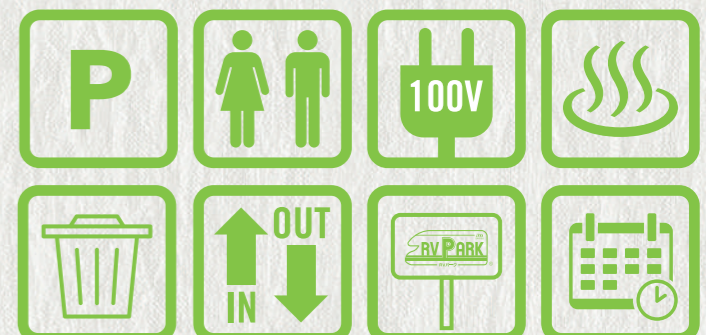


電源ポートも各所に完備されている

キャンピングカーユーザーに聞きました  
車中泊する場所は? (複数選択可)



キャンピングカー白書2022調べでは  
高速道路のSA・PAを抑えて  
ユーザー車中泊スポット2位に!!



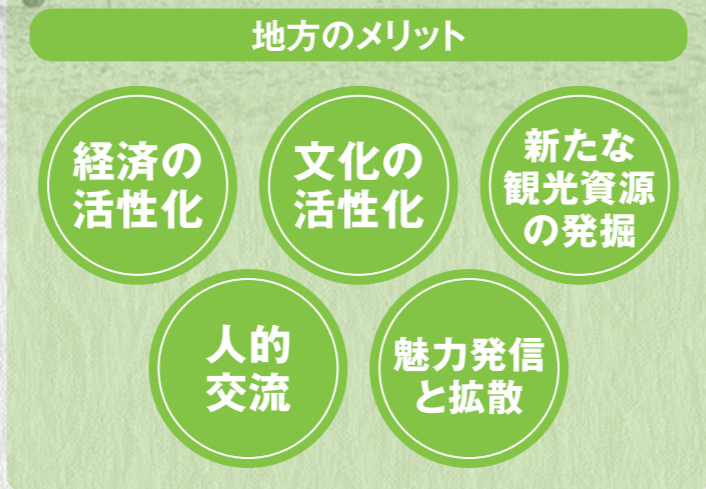


# 築

## RVパークがもたらす経済効果 くるま旅が新たな地方創生を喚起

### RVパークは 新しい観光文化を構築する

一般的な旅行では公共交通機関がハブとなって、その周辺での観光が目的となります。一方で、自由に動き回れるキャンピングカーにとって、旅の目的地はどこでもかまいません。これまで人が訪れなかった場所でも、素晴らしい観光資源がたくさんありますが、そのような場所がキャンピングカーによって、新しい観光地となることも考えられます。また、宿泊代がかからない分、地元での買い物が増え、経済効果も期待できるのです。



日本の経済にも大きな影響を与え  
新たな観光文化を構築

キャンピングカーユーザーに聞きました  
キャンピングカーで旅行したときの  
1回あたりの平均的な予算

10,000~50,000円未満 **67.7%**

50,000~100,000円未満 **18.9%**

宿泊費・交通費を抑えられるため  
旅先での食費やお土産に使われる



### RVパークは 多種多様な展開が可能

RVパークはキャンピングカーユーザーにとって、旅に欠かせない施設です。全国各地に広がったことで、周遊型の旅行を楽しむ人も増えてきています。よって、求められているスタイルはさまざま。道の駅に併設されたり、公共施設内に作られることもあります。また、市街地に設置され、都市観光を楽しむために利用されることもあります。最近では防災対策としての場所としても見直され、多種多様な展開が期待されています。



RVパークに設置されているトイレや電源は、災害時に地元のライフラインとしても活用できる。

**CASE 1 道の駅型**  
もともと多い道の駅での車中泊ユーザーに安心と快適をプラスして事業化

**CASE 2 ホテル・温泉型**  
温浴施設と車中泊という最高に相性の良い組み合わせを実現

**CASE 3 レジャー型**  
遊園地の臨時駐車場などを有効活用して車中泊とレジャーを同時に楽しめるカタチの提案

**CASE 4 都市型**  
町中の遊休地や空き駐車場を利用することで近隣の飲食店や商店を活性化

**CASE 5 行政管理型**  
市や町で管理する公園や運動公園などの駐車場を利用して町全体を活性化

### RVパーク認定施設は日本RV協会の高い広報力を活かしてアピールします

- 全国のキャンピングカーショー会場でご紹介
- 各種メディア・雑誌媒体への情報提供
- 日本RV協会のリリースで幅広く告知(無料)
- RVパーク専用サイトに情報掲載(無料)
- くるま旅クラブ会員17,000家庭への通知
- くるま旅クラブ会員特典設置で誘客効果アップ





# 守

## 観光資源を大切に守る キャンピングカーユーザーのマナー向上

### マナー啓発として 『公共駐車場におけるマナー10ヶ条』を提案

旅の新スタイルとして、キャンピングカーの文化を作るためには、正しいマナーを伝えることも大切。そこで、日本RV協会では、誰もが快適に過ごせるように、公共駐車場におけるマナー10ヶ条を提案しています。

#### ① 長期滞在は行わない

道の駅や高速道路のSA・PAなどは宿泊施設ではないので、そこにおける休息は必要最小限の仮眠にとどめ、連泊・長期滞在を行わない。また、キャンピングトレーラーを公共の駐車場に放置して、むやみにヘッドのみで遠出するようなことは避けましょう。

#### ② キャンプ行為は行わない

道の駅やSA・PAなどでは、たとえ短時間の休息であっても、オーニングを広げたり、イス・テーブル・バーナーなどを車外に持ち出してキャンプ場代わりに使わない。また、周囲に配慮し、とくに早朝・夜間の大きな話し声や生活音に注意しましょう。

#### ③ 許可なく公共の電源を使用しない

許可なく公共の電源にキャンピングカーを接続し、その電源を利用することはやめましょう。

#### ④ ゴミの不法投棄はしない

旅行中や移動中に発生した生活ゴミは、ゴミ箱があっても投棄しない。また食器などは使い捨てのモノは避け、ゴミは持ち帰ることを心がけましょう。

#### ⑤ トイレ処理は控える

公共の駐車場では、カセットトイレやポータブルトイレの処理は控えましょう。

#### ⑥ グレータンクの排水は行わない

生活排水用のグレータンクの処理も、その場で垂れ流したり、側溝に流したりしないように心がけましょう。また、施設に許可なく給水することはやめましょう。

#### ⑦ 発電機の使用には注意を払う

公共駐車場における発電機の使用は、時と場合を十分に考慮し、他の利用客が休息している時や近所に民家があるような場所では、使用しないようにしましょう。

#### ⑧ オフ会の待ち合わせは慎重に

オフ会やクラブミーティングで公共駐車場に集合する場合は、他の利用客から駐車場を占拠して騒いでいると誤解されないように振る舞いましょう。

#### ⑨ 車椅子マークの所に駐車しない

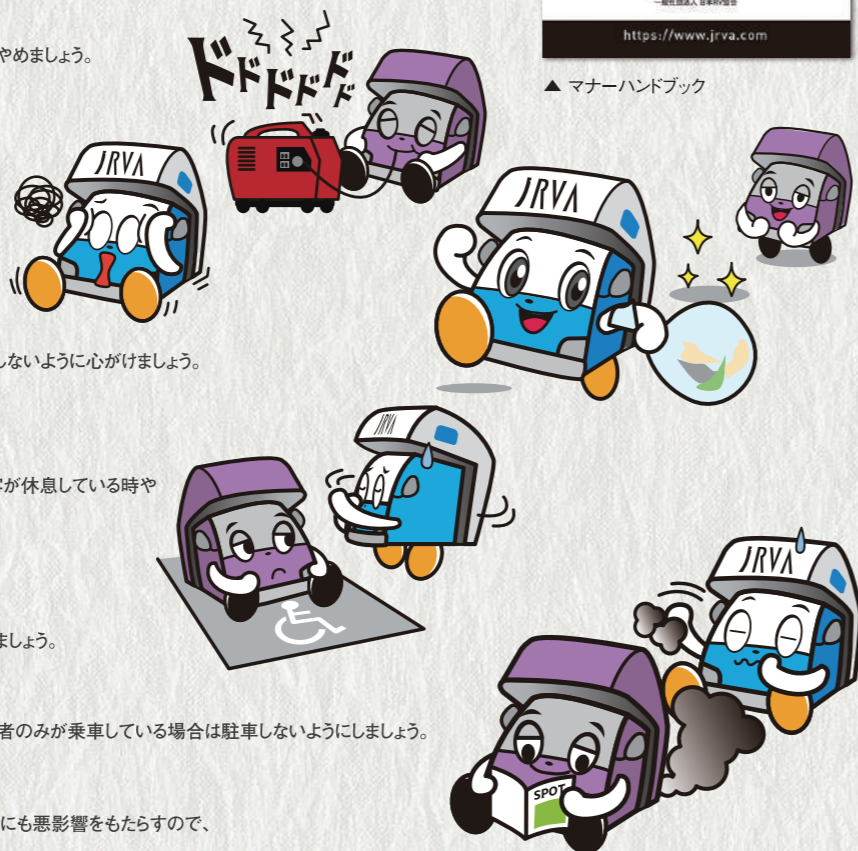
道の駅や高速道路のSA・PAにある車椅子マークの駐車スペースには、健康者のみが乗車している場合は駐車しないようにしましょう。

#### ⑩ 無駄なアイドリングはしない

無駄なアイドリングによる排気ガスの流出や騒音は、大気汚染や地球温暖化にも悪影響をもたらすので、エンジンをストップを心がけECOドライブを行いましょう。



▲ マナーハンドブック



# 備

## 災害時に活躍する機能性 被災地でキャンピングカーが活躍

### 非常時における キャンピングカーの役割

日本RV協会では、設置から運用までの時間がかからず、移動可能なこと、プライバシーの確保、災害弱者への対応（乳幼児や女性、老人）など、キャンピングカーの特性を生かした災害支援を実施しております。また、JRVAイベントでは災害時のキャンピングカーの有用性をブース展示し、来場者の皆様へ積極的にお伝えしています。



キャンピングカー設備はいざという時の備えにもなります。また、レジャー利用で、防災を意識することなく、電気や水、食料などを備蓄する行動も喚起できるのです。そこで、日本RV協会では防災としてのキャンピングカー利用も提案してきました。

### キャンピングカーユーザーに聞きました キャンピングカーがあれば 災害時に確保できるものは？ (複数選択可)



株式会社ダイレクトケース・いなべ市  
連携協力に関する包括協定調印式

もしもの災害時に自治体や行政にキャンピングカーを貸し出して使ってもらおうという災害協定が多くの協会会員企業と結ばれている。



東日本大震災  
東日本大震災ではNPOを通して、キャンピングカーが被災地をサポートしました。スタッフの宿泊や休憩に使われたり、自宅の復旧まで時間がかかる被災者の一時宿泊施設として利用され、震災復興のために貢献しました。



熊本地震  
局地的な被害が大きかった熊本地震でもキャンピングカーが役立ちました。日本RV協会からは3台が提供され、被災者の生活をサポートしています。それまでの経験から医療用のキャンピングカーなども用意されていました。





Japan Recreational Vehicle Association

## 概要

名称	一般社団法人 日本RV協会
英文名称	Japan Recreational Vehicle Association
略称	日本RV協会 および JRVA(ジャルバ)
設立	1994年3月10日
会長	荒木 賢治
所在地	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-19 竹生第二ビル 905号室
会員	約130社

## 沿革

1994年	日本RV協会設立 キャンピングカーの使用環境の整備、市場の育成、業界の発展を目指す
2003年	ユーザー団体『くるま旅クラブ』設立
2007年	『キャンピングカー白書』発行
2008年	シンポジウム『より良きくるま旅を目指して』開催(9月) キャンピングカーマナー10ヶ条を策定、発表(10月)
2009年	第1回 RV世界会議 参加(ドイツ)
2010年	一般社団法人化(7月)
2011年	「東日本大震災」災害支援 活動開始
2012年	『RVパーク』第1号開設
2013年	第2回 世界RV会議 参加(アメリカ)
2015年	第3回 世界RV会議 参加(オーストラリア)
2016年	欧州・豪州・韓国 各RV協会の会長によるワークショップを開催(2月) 熊本地震にてボランティア団体へキャンピングカーを提供(6月)、貸出(7月)
2017年	熊本市にキャンピングカーを提供(9月) 九州朝倉市豪雨災害にてボランティア団体へキャンピングカーを貸出
2018年	JRVA事務局を新横浜へ移転
2019年	第1回 アジアRV会議 参加(中国) RVパーク、タイムズ24株式会社と提携 RVパーク、一般社団法人 日本自動車連盟(JAF)と提携
2021年	日本RV協会政治連盟 議員連盟『キャンピングカーとくるま旅の普及を実現する議員連盟』を設立

## 活動

### ● 安心・安全な車両の製造と技術の向上

独立行政法人自動車技術総合機構(NALTEC)及び特別民間法人軽自動車検査協会(軽検協)と連携し、国土交通省の保安基準に適合したより安心・安全な車作りを目指しています。さらに、協会独自の取り組みとして、製造技術部会を毎年定期的に開催すると共にキャンピングカーなど特種用途自動車の構造要件に関する技術資料の配布、許容重量表記ステッカー貼付の義務化、電気配線の色別規格の制定など、会員の技術向上に向けた各種活動を行っています。



### ● 普及・広報活動

メディアへの取材対応やリリース、統計情報等を発信。独自の媒体やノベルティグッズなどを制作・配布し、キャンピングカーとその世界の楽しさを普及・啓発しています。また、キャンピングカーユーザーに向けマナー等の情報についても発信しています。さらに海外のRV団体へ日本のRV市場情報を発信し情報交換をおこなっています。



### ● 全国の行政や自治体との災害協定の締結

日本RV協会の会員企業と行政での災害協定が盛んに結ばれています。各地域で被災した時に、キャンピングカービルダーや販売店が保有するキャンピングカーが貸し出される、という協定内容です。『スタッフの宿泊先』や『プライバシーを確保できる避難者向けの施設』など、さまざまな用途が想定されています。

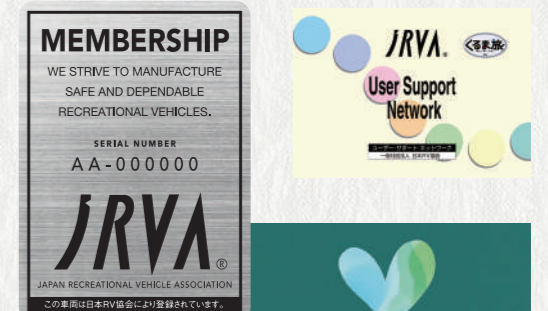


### ● 展示会、他イベントの開催

より多くの方々にキャンピングカーの魅力を知っていただき、実際にキャンピングカーを見て感じて頂く為に全国でショーや展示会などのイベントを開催しています。また、ユーザー向けにキャンプ大会等も企画・運営しています。

### ● ユーザー・サポート・ネットワークの展開

全国の会員ネットワークを活かし、旅先での車両トラブルへの対応を行い、お客様に安心してキャンピングカーをご利用いただくためのサポート体制を整えていきます。



### ● ユーザーケアの充実

ユーザーに向けた協会独自のキャンピングカーパーツの補償システム「JRVA安心サービス」。また、中古自動車の特別保証システム「JRVA中古車保証」等、保険・補償サービス制度を導入し、事業者側では製造者責任のPL保険に加入するなど、ユーザーケアの充実を目指します。

